



# 麻布幼稚園だより 2月号

平成29年1月31日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

## 『良き手本に、良き先輩に！』

園長 大島 美知代

平成28年度も残りが少なくなってきました。1月20日「大寒」の前後から東京の冬は厳しくなってきました。毎朝、元気にあいさつし登園する園児の顔を見ると、嬉しくなり、寒さも吹き飛んでしまいます。

園児たちも2月、3月の大切な日々を、目的をもって過ごしています。もも組は手回しゴマやパズルに夢中になったり、園庭での鬼遊び、砂遊びにも自分から参加したりして過ごしています。さくら組はこども会に向けてストーリーに沿って表現して遊んだり、楽器遊びをしたりして楽しそうにしています。きく組は自分たちで大きな遊具を組み立て遊んだり、コマやドッジボールで競い合ったりしています。園児の姿を毎日記録写真に収めていると、体も大きく、言葉で自分の気持ちを伝えることも多くなり、友達や他学級の友達と優しく関わる姿を見ることができ、教員としてはこの上ない喜びを感じています。

今月は、中旬に「こども会」で表現活動の姿、集団として人前に立つての発表する態度等をお見せすることを計画しています。幼稚園ではいろいろな姿を1年間通じてお見せするように考えてきました。「親子で遊ぼう会」「プール参観」「親子運動会」では生き生きと体を動かす姿を、「作品展」では描く・作ることを体験した園児の作品を、「お正月遊び集会」では遊ぶ上でのルールの大切さを感じたり、数や文字に興味をもったりする姿を見ていただきました。「こども会」は最後の大きな参観の機会です。園児たちは緊張する中にも見ていただく嬉しさを感じ、集団で動いたり、歌う、楽器を演奏する楽しさを感じたり、学級のみならず表現したりする姿を見せてくれるでしょう。

園児数の増加に伴い、狭い室内ですがプレイルームでの参観が少しでも保護者や地域の方に見やすくなるように今年度は参観の仕方を見直しました。保護者も、集団で参観する際のルールや時間をお守りいただき、みんなが気持ちよく参観できますよう、ご協力お願いいたします。

3学期始めの保護者会で話し、保護者の協力を得て正門でさようならをしていただいています。3歳児は制服着用もお願いしました。園児たちが育ってきたことを教員は捉え、もう一つ段階を上げた、ということです。保護者のご協力があり、登園時の支度が早くなりました。そして遅刻も2学期に比べると減少しました。担任が「毎朝、時間通りに来る子が決まっている。遅い子は身支度に時間がかかり、朝の活動のスタートがうまくいかない…」と日々こぼしていました。ところが3学期には、保護者が『良き手本』を見せてくれたため、朝の活動もスムーズになりました。もちろん担任も指導の計画を改善し、保護者にも明確に協力を求めました。園児を取り巻く大人たちの協力が朝の活動を後押しし、改善につながったと思います。薄着の子も増え、朝から園庭で元気に動き、1月の避難訓練の集合時の姿が見違えるようになった、と担任はとても喜んでいました。やはり幼児期は、周囲の大人が『良き見本』を見せ、実践することがとても重要だという証しです。1月下旬には「新入園児保護者会」を行い、本園の教育の姿勢、園児の成長につながる保護者の姿勢の大切さについてお話をしました。平成29年度4月には新しい園児と保護者が本園の仲間となります。在園児の保護者としてどうあるべきかを常に考え『良き見本、良き先輩』となって本園の園児たちを育てていきたいです。それ程保護者の姿勢は重要だということですから。